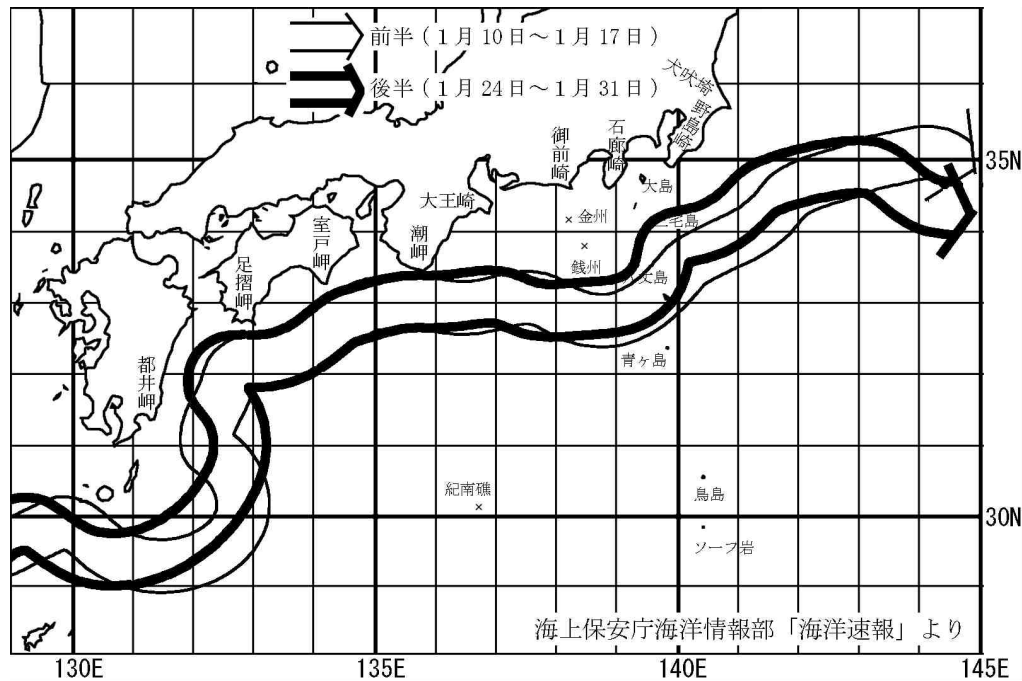


# 漁海況月報

平成 18 年 1 月 1 日

No. 1 ~1 月 31 日

静岡県水産試験場  
(電話 054 627 4815)  
静岡県水産試験場伊豆分場  
(電話 0558 22 0835)



## 【黒潮流路】

前半、種子島付近で蛇行(前月に比べ約 50 マイル離岸)した後、九州東岸から潮岬にかけて接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖 33°N を東進し、八丈島付近を北東に向かい、前月の伊豆諸島西側の小蛇行が房総沖へ東進したため、やや離岸傾向で房総半島に沿って流れた。

後半には、種子島付近から都井岬にかけて緩やかに蛇行した後、四国から潮岬にかけて接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖 33°N を東進し、八丈島と三宅島の間を通り、房総半島に沿って流れた。前半の房総沖の小蛇行が東へ抜け、伊豆諸島以東では前半に比べやや接岸した。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 13~16 台、駿河湾東部では 13~15 台、駿河湾西部では 10~15 台で経過し、平年並み~やや低めであった。

## 【竿釣近海カツオ】

1 月の県内主要 5 港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は 29 トンで前年同期の 10% であった。魚価は 257 円/kg で、前年同期を下回った。

静岡県船は、主に中旬から今年の操業を開始した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
18 年 1 月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	29	1	29.3	257
18 年 1 月計	29	1	29.3	257
17 年 1 月計	288	13	22.1	284
16 年 1 月計	46	6	7.7	532

## 【定置網】

平成 18 年 1 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は 147 トンであった。1 漁場当たり水揚量 18.3 トンは前年 59.3 トンの 30.9% で、平年値(昭和 57~平成 17 年平均値) 21.4 トンの 85.5% であった。

魚種別にみると、スルメイカ 109.2 トン(前年の 14.5 倍、平年の 5.9 倍) マアジ 11.4 トン(前年の 48%、平年の 1.2 倍) サバ類 6.9 トン(前年の 22%、平年の 49%) カタクチイワシ 4.9 トン(前年の 2%、平年の 14%) ホウボウ 4.1 トン(前年の 58.6 倍、平年の 7.5 倍)の順に多かった。

スルメイカは北川、川奈を中心に入網し、1 月の全魚種漁獲量の 74% を占め、昭和 57 年以降では平成 5 年に次いで多く水揚げされた。外套背長のモードは 25cm であった。マアジは谷津、北川、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは 18cm にみられた。サバ類は川奈を中心に入網し、ほとんどがゴマサバであった。尾叉長 28cm にモードを持つ 1 歳魚と 31cm にモードを持つ 2 歳魚がみられ、2 歳魚が中心であった。カタクチイワシはその 7 割が 1 月 22 日の富戸、伊豆山への入網であり、きわめて偏った入網であった。聞取りによると、被鱗体長は 12~13cm 前後と思われた。ホウボウは川奈、北川、富戸を中心に入網し、昭和 57 年以降では平成 10 年に次いで多く水揚げされた。尾叉長のモードは 27cm

2006 年 1 月

定地水温の旬平均値 ( )

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	15.0	15.6	15.5	14.7	13.9	14.2	10.5
	0.3	0.3	0.2	0.9	1.7	0.6	2.5
中 旬	14.8	15.7	14.9	14.8	14.8	14.9	11.9
	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.6	0.4
下 旬	13.8	14.7	13.9	13.8	13.6	14.4	10.8
	0.7	0.3	0.4	0.8	1.0	0.4	1.1
月平均	14.5	15.3	14.7	14.4	14.2	14.5	11.1
	0.3	0.1	0.0	0.7	0.9	0.1	1.3

にみられた。

漁場別水揚量は、スルメイカの漁獲が多かった北川(54トン)、スルメイカ、サバ類、ホウボウの漁獲が多かった川奈(38トン)、サバ類、スルメイカ、マアジの漁獲が多かった谷津(22トン)の順であった。

**[サバ棒受網]**

年明けの出漁は中旬に入ってからとなり、小川港にはたもすくい、棒受網によって512トンが水揚げされたが、全てゴマサバであった。棒受網の漁場は、中旬には三宅島、下旬には御蔵島近海に、たもすくいの漁場は、三本周辺海域に形成され、尾叉長25~32cmのゴマサバが主に漁獲されたが、33cmを超える大きさのものが若干混獲された。1kg当たりの平均単価は52円で、前年同期(29円)を上回った。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成18年 上旬	-	-	-	-	-
1月 中旬	219	5	9	24.3	三宅、三本
下旬	293	4	9	32.6	御蔵、三本
計	512	9	18	28.5	- - - - -
平成17年1月	462	4	13	35.5	三宅
平成16年1月	303	7	22	13.8	三宅、利島

**[シラス船曳網]**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で50kg、遠州灘で129kgだった。主要6港平均では86kgと前年同期の99%、平年同期(過去5か年平均:89kg)の96%と、平年並みであった。1月の総水揚量は14.0トンと、前年同期の79%、平年同期(13.7トン)の102%に当り、平年並みであった。平均単価は837円/kgと平年同期(1,105円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	-	0	0	-	-
舞 阪	1.7	3	7	240	821
福 田	2.0	1	19	104	762
御前崎	6.0	5	49	122	630
吉 田	2.5	3	28	90	1,023
静 岡	1.9	3	60	31	1,348
平成18年1月計	14.0	-	163	86	837
平成17年1月計	17.7	-	205	87	1,671
平成16年1月計	12.1	-	136	89	897

**[まき網]**

小川港では、マイワシは175kg水揚げされ、平年同期(過去5か年平均:203.7トン)と比べ極めて低調であった。カタクチイワシは238kg水揚げされた。

沼津港では、マイワシは19トン水揚げされ、平年同期(217.2トン)と比べ極めて低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

静浦港では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚げされなかった。

伊東港では、マイワシは1トン水揚げされた。カタクチイワシは水揚げされなかった。

**[調査船の動向]**

富 士 丸

1月19日~ 南方カツオ調査(13日間)

駿 河 丸

1月10~13日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(4日間)

1月16~17日 金洲、駿河湾内にてサバ漁場調査(2日間)

1月18~19日 駿河湾内にてサクラエビIKMT調査(2日間)

1月26~17日 久能沖にてトラフグ試験操業(2日間)

1月30日 サバ漁場調査に向かうが風悪く中止(1日間)